

+

FAUST IN MARIENBAD by white dwarf

窓の月、水の月、空の月。点線面体宇宙空今。即身仏（永遠の行為）という（日本の）美意識。うとなとなのまにまにせもしもしらずいのみふるふる。うちはうちそとはそとのんじゃった。ああ、常に「だから”何”だ」と声がする。

モノコトに起承転結は無くただ「今」があることを愛する。結論を求めず、関係性を愛し、広がったり縮んだりする揺らぎのある「朦朧とした輪郭」を意識する。宇宙と空のように、空と海のように。私（あなた）は、ただ「ある」だけで、自分自身で「あり」、他(者)と繋がり、「今」という広がりの中にいる。

「今」は（い、ま）、「ある」は（あ、る）とする。

行為（孤高と継続）存在と関係（認識（ルールと位置）完了）存在があること。
本質（観測前にもある）と存在（観測後にしかない）の「今」を生きること。
言葉（記号）になる前の本質を重ねるコトで、今「ある」という存在が（写真に）成る。
真理が飽和し、関係性が調和した時にも生まれる本質。

私（あなた）は、存在し今を生きるコトを「ある」と言い、
私（あなた）は、その運動による放出エネルギーを「うつしい」と呼ぶ。

私（あなた）は、本来無一物という空集合(ϕ)を持つ。
私（あなた）は、その場所に必要な形に成って調和する(宇宙)。

私（あなた）は、存在（行為と関係/幸福）の果てに white dwarf (星) に成る。

/20230528/MISAKO&ROSEN 有馬かおる個展

+